

参加者のみなさんへ

乾燥地(黄砂)研究を応用したヘルスケア・空気質向上に向けた研究とその応用 ～黄砂を主とした空中浮遊物質による健康影響および飛来予測モデルの開発要素の調査～

Application of Arid Region (Asian dust) Research for Health Care and Air Quality Improvement:
Investigating the Health Impacts of Airborne Particulate Matter, Primarily Asian dust,
and Exploring Elements for Developing a Prediction Model.

説 明 書

はじめに

この説明書は、この研究へのご協力をお願いするための説明文書および同意文書です。代表者または研究分担者からこの研究についての説明をお聞きになり、研究の内容を十分にご理解いただいた上で、あなたの自由意思でこの研究に参加していただけるかどうか、お決めください。この説明文書を読まれて、研究に協力いただける場合は、WEBアンケートシステム(右下のQRコード)で「同意する」というチェックボックスにチェックを入れてください。この研究に参加されない場合や途中で中断を希望された場合でも、あなたが診療などで不利益を受けることは一切ありません。

1. 研究について

大気中浮遊粒子状物質によるアレルギー患者は近年増大しています。環境基準値以下の排出による曝露であっても、アレルギー患者へは重篤な症状を引き起こします。さらに健常人においても健康悪化リスクの上昇を引き起こすことが予備研究によって明らかになっています。今後は、微小粒子曝露による健康影響・診断を明らかにすることが重要になると考えています。本研究では、黄砂・大気汚染物質の飛来状況による健康影響を評価し、何がリスク因子かを明らかにし健康リスクへの先見的対応を行う事を目的としています。

本研究は聖路加国際大学で実施します。本学の研究倫理審査委員会において、科学的・倫理的側面より審査・承認を得た上で、聖路加国際病院院長の許可を受けております。さらに、鳥取大学医学部、ダイキン工業株式会社の倫理審査委員会の許可を受けて実施されています。

2. この研究の目的及び意義について

近年、黄砂や大気汚染の飛来が注目を浴びています。黄砂は、中国大陸の砂漠で上空に巻き上げられた砂が飛んでくるもので、日本で観測される黄砂は2020年まで減少傾向でしたが、2020年から頻繁に飛来する傾向にあります。また、黄砂は、しばしば大気汚染物質と一緒に飛来します。

これまでに、黄砂や大気汚染物質によるアレルギーの発症やぜん息(そく)の子どもが入院する危険性が高まることが報告されていますが、黄砂のいったい何が悪いのか、そして黄砂と一緒に運んでくる大気汚染物質の短期的・長期的な影響、他のアレルギー疾患への影響については、詳しいことはまだわかっていません。

3. 研究の方法

(1) 対象となる方

- 1) 日本語または英語で、WEBアンケートシステムに回答できる者
- 2) 同意取得時の年齢が18歳以上95歳未満である
- 3) 本研究の参加について、本人からWEBシステム上で同意を得られた者

下記に該当する方は、今回の研究にはご参加できません

- 1) WEBアンケートシステムで回答できない者
- 2) 研究責任者、研究分担者が被験者のコミュニケーション能力、態度などを総合的に評価し本研究のアンケートの趣旨、質問内容についてご理解いただけないと判断した者
- 3) データの研究目的使用の拒否を申し出た者

(2) 研究の方法

ケータイ・スマートフォンもしくはパソコンを使った8分程度のアンケート調査です。アンケートサイトにアクセスして、簡単なアンケートにお答えください。アンケートの内容は、その日に屋外にいた時間やその日の症状などです。ご回答の内容を、地域の黄砂濃度や大気汚染成分のデータ等と比べて、黄砂や大気汚染物質の影響をくわしく分析します。

この研究への参加に同意いただけた場合に協力をお願いすることは次の2点です。

- ① WEBアンケートシステム上で同意のチェックボックスをチェックして同意いただくこと
- ② 研究用のアンケートに回答していただくこと

4. 予想される利益と不利益

(1) 予想される利益

この研究に参加することで、あなたに直接もたらされる利益はありません。私たちは、この調査を通じて、健康に役立つ知識が得られることを期待しています。ぜひ将来の環境と健康を守る研究の意義をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

(2) 予想される不利益

対象者がWEBアンケートシステムによる回答を行う際に、自身の端末を用いる場合には、通信費が対象者負担となるため、対象者の不利益となります。アンケート調査に際して、時間の束縛による有害事象が考えられますが、その他の記載欄以外は、選択肢式の質問票で、8分程度で回答が完了するようにしてあります。

なお本研究に参加することで、費用をご負担いただくことはありません。

5. 研究実施予定期間、参加施設数と参加予定者数

(1) 実施予定期間

この研究は、研究機関の長による実施許可後から2028年3月まで行われます。

(2) 参加施設数 1 施設

代表施設 聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科

参加施設 鳥取大学(研究実施施設)

(3) 参加予定者数 300名の方の参加を予定しております。

QRコードをクリックすると参加ページへいきます。

<http://en.ec.mycms.jp/survey/?lang=ja>



参加登録(初回のみ)と
毎日のアンケート回答はこちらから。

初めて調査にご参加いただく方は、
「初めての方はこちら」→「同意書を読む」→「説明を読む」
→「□ 内容をよく理解し、同意します」にチェックして進めてください。

6. 研究への参加とその撤回について

あなたがこの研究に参加されるかどうかは、あなたご自身の自由な意思でお決めください。また、あなたが研究の参加に同意した場合であっても、途中で研究への参加(アンケートへの回答の継続)をとりやめることができます。たとえ参加に同意されない場合や同意を撤回する場合でも、あなたは一切不利益を受けません。無記名アンケート調査のため、回答送信後のデータの研究使用同意撤回は不可能となります。

7. 研究への参加を中止する場合について

せっかくこの研究へ参加していただいても、次の場合は参加を中止していただくこととなります。あなたの意思に反して中止せざるをえない場合もありますが、あらかじめご了承ください。中止する場合は、その理由およびそれまでのデータの活用方法などを研究担当者からご説明いたします。また、中止後に何らかの不利益を被ることはありませんのでご安心ください。

- ① あなたが研究への参加の中止を希望された場合
- ② その他、研究担当者が中止したほうがよいと判断した場合
- ③ WEBで回答ができなくなった場合

8. この研究に関する情報の提供について

本研究の情報について

あなたの安全性や研究への参加の意思に影響を与えるような新たな情報が得られた場合にはすみやかにお伝えします。

また、この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究代表者にお申し出ください。

9. 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報の保護について

本研究にご参加いただいた場合、「3.研究の方法」でお伝えした通り研究のためにあなたの回答を収集させていただきます。その収集したデータは、研究代表者の元で管理します。無記名のアンケート調査ですが、あなたの居住地域(市町村)、メールアドレスを収集します。個人情報が外部に漏れることがないように慎重に研究を実施させていただきます。

(2) 試料・情報の管理について

この研究で収集したデータは、本学の研究代表者が責任を持って保管し、研究終了10年後にはシュレッダーや削除にてデータを廃棄いたします。その際も、個人情報が外部に漏れないよう十分に配慮いたします。

(3) 将来の他の研究で試料・情報を使用させていただくことについて

本研究のために集めたデータを将来、この研究とは別の研究に利用することを“データの二次利用”と言います。今はまだ計画・予想されていませんが、将来、本研究で収集したデータを他の研究にも使用する可能性があります。その場合にも、あなたの居住地域(市町村)、メールアドレスの個人情報については保護した上で行います。また使用の際は、その使用目的や内容について、改めて研究倫理審査委員会の審査を経て承認され研究機関の長の実施許可を得た場合に限り使用させていただきます。

10. 研究に関する情報公開について

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌などに公開されることがあります。その際にもあなたのメールアドレスなどを公開することなく、参加者個人が特定できないよう配慮いたします。

11. 健康被害が発生した場合の補償について

アンケート調査である本研究では想定していませんが、研究担当者は、心身の苦痛等、本研究に起因する有害事象を認めたときは、対象者の了解を得て面接を中止もしくは中断し、状況が落ち着くまで対応いたします。

12. 研究資金(利益相反)、費用負担などについて

(1) 利益相反について

研究における利益相反(起りうる利益の衝突)とは、製薬会社や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、知的所有権といった経済活動により、研究者が公正な姿勢を損なわれる(特定の企業や個人にとって有利な方向へ歪曲させる)、もしくは損なわれるかもしれないと疑われる状態を指します。

本研究は、鳥取大学とダイキン工業株式会社の共同研究(研究題目:「乾燥地(黄砂)研究を応用したヘルスケア・空気質向上に向けた研究とその応用」)の経費によって2028年3月31日までは実施されます。以降については、鳥取大学の継続あるいは新規の共同研究、もしくはその他の研究経費によって実施される予定です。ただし、予算が確保できなくなった場合、あるいは当初目的を達成した場合は、予定より早期に終了することがあります。

また企業と研究者との利益相反は、本学の利益相反管理委員会にて審議され、適切に管理されていることが確認されています。

(2) 費用負担について

対象者がWEBアンケートシステムによる回答を選択しかつ自身の端末を用いる場合には、通信費が対象者負担となります。

本研究に参加することで、別途費用をご負担いただくことはありません。なお、ご参加いただくにあたっての謝金などのお支払いもありません。

13. 知的財産権の帰属について

この研究から成果が得られ、知的財産権などが生じる可能性があります、その権利はあなたにはありません。

14. 研究担当者と連絡先(相談窓口)

本研究の実施体制は以下の通りです。何か聞きたいことやわからないことや心配なことがありましたら、以下の研究代表者の連絡先にお尋ねください。



調査のホームページ(詳しい説明など)は、
こちらからご覧ください。

<https://tnii.tottori-u.ac.jp/obaco/>

【研究責任者】

研究代表者：聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 大西 一成

研究分担者：鳥取大学乾燥地研究センター 黒崎泰典

ダイキン工業株式会社 菊野智教

【研究相談窓口・連絡先】

聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 大西 一成

連絡先 03-5550-4101(代表番号) メール imasoraproject@gmail.com

※ 受付時間は、平日11:00-17:30(夜間・休日を含まない)

※ 研究へのお問い合わせは、研究代表者、研究分担者が案内した連絡先へお問い合わせください。